

上尾市立原市小学校 令和5年度 学校評価

(1) 自己評価

※学校経営方針の指導の重点に基づき評価を実施。

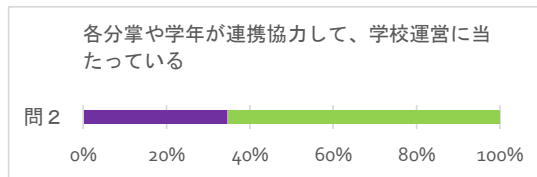
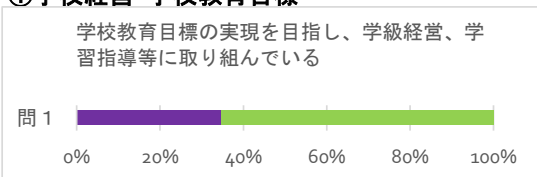
A:よくあてはまる

B:おおむねあてはまる

C:あまりあてはまらない

D:全くあてはまらない

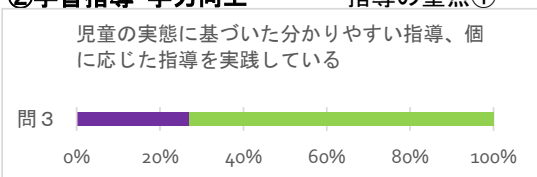
①学校経営・学校教育目標



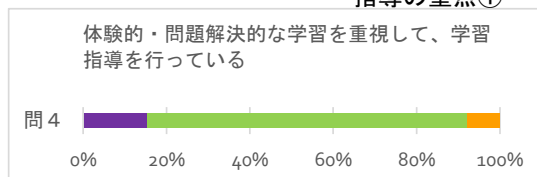
学校教育目標の実現に向けて、全教職員の共通理解のもと教育活動を行うことができた。また、一人一人が学級経営及び学習指導における具体的な方策を実践することができた。次年度も教育課程の改善を図るとともに、分掌部会や学年会の時間の確保に努め、さらに教育の質を高めていく。

②学習指導・学力向上

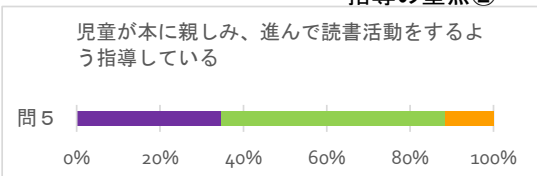
指導の重点①



指導の重点①



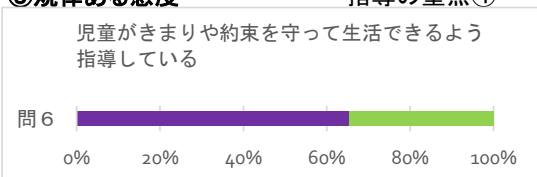
指導の重点②



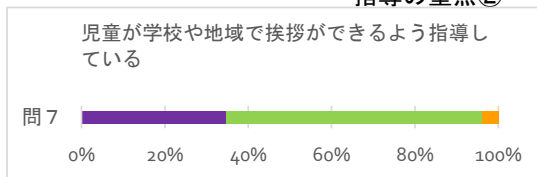
ICTツールを活用し、個に応じた指導を充実させることができた。体験的・問題解決的な学習の充実に向け、校内研修等を通し教職員の指導力を向上させる必要がある。児童が本に親しめるよう、朝の読書活動や読み聞かせの機会を増やしていく必要がある。

③規律ある態度

指導の重点④



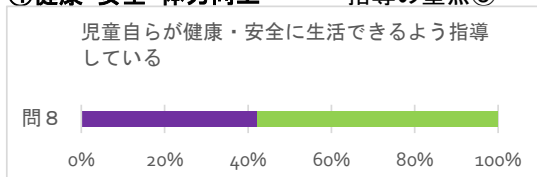
指導の重点②



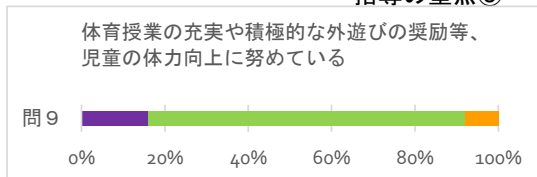
規律ある態度については、概ね成果が出ている。次年度も生徒指導目標を設定し、共通理解のもと指導を行っていく。挨拶については、今後も指導を継続し、時と場に応じた気持ちの良い挨拶ができる児童を育成していく。

④健康・安全・体力向上

指導の重点③



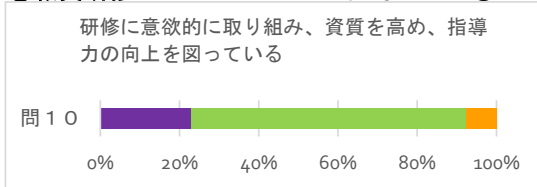
指導の重点③



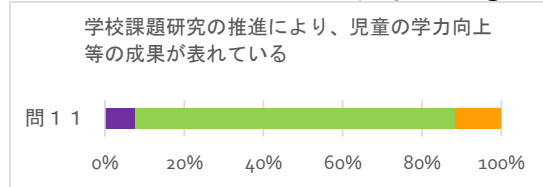
健康・安全については、一斉下校や避難訓練、学年の発達段階に応じた保健指導を行っている。体力テストの結果は伸びているが、次年度も外遊びを奨励するとともに、体育の授業を中心に児童の体力向上の手だてを講じて行く必要がある。

⑤職員研修

指導の重点①



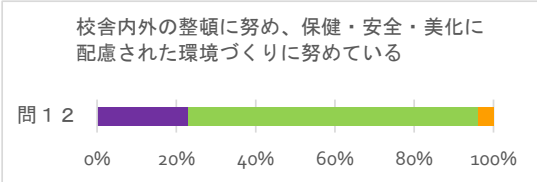
指導の重点①



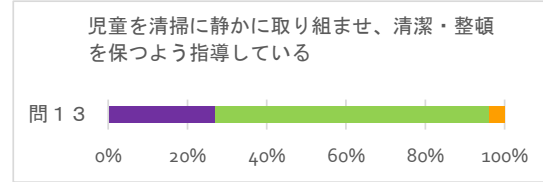
本年度より、小・中一貫教育の推進と算数科を中心とした学力向上の研究に取り組んでいる。原市中学校区小中合同研修会を行い、小中それぞれの課題や現状を共有し、小中学校共通の研究主題と目指す児童・生徒像を設定したところである。算数科においては、校内授業研究会を実施し、教職員の共通理解を深めることができた。次年度は、研修の成果を生かし質の高い学びを提供するとともに、学力向上プランに沿った授業を着実にやっていく必要がある。

⑥環境整備

指導の重点⑤



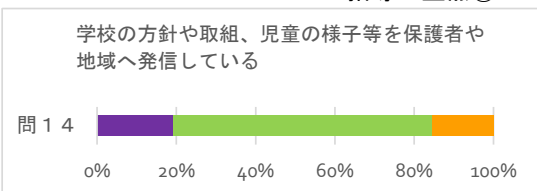
指導の重点⑤



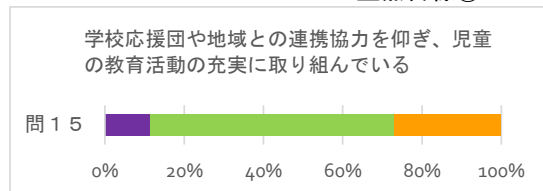
屋上の張替えや防犯カメラの交換等、老朽箇所の修繕や老木の剪定については市の施設担当者と連携しながら、計画的に進めることができた。次年度も安全点検と清掃活動の充実を図り、校内の環境整備に努めていく。

⑦保護者・地域との連携

指導の重点⑥



重点目標⑥



情報発信については、学校ホームページやさくら連絡網、各種便りを通じて行うことができた。保護者や地域のニーズに沿った情報発信ができるよう努めていく。学校応援団や地域と連携した教育活動に課題が見られる。教職員がどのような場面や活動で協力を得られるかを把握し、計画的に進めて行く必要がある。

(2) 学校関係者評価

- ①先生方の指導のもと、子供たちが向上しようとする様子が感じられる。
- ②学力向上のため学校と家庭が連携していく必要がある。自ら学習に取り組むことは難しいことだが、興味をひかせることが大切だと感じる。「勉強が好きになる」ことも大事だが「授業が好きになる」ことも大事なことである。
- ③学校と家庭で温度差がある。学校の指導方針をうまく伝えていく必要がある。下校時にあいさつをすると、あいさつを返してくれるようになり嬉しく思う。
- ④学力の向上、定着に正しい生活習慣の確立は欠かせない。今後も家庭、地域で原市小の児童を育てるという意識をもっていきたい。不登校の子供たちが全国的にも増えているので、学校での対応を考えてほしい。
- ⑤小中一貫教育を推進し、学力向上に成果が見られることを期待する。
- ⑥今後も市と連携してぜひ施設設備の修繕や環境整備を進めてほしい。
- ⑦生まれてきた子供たちを学校、家庭、地域で大切に育ててあげたいと思う。